

# 木更津市史編さんだより

木更津の歴史・文化・自然再発見マガジン

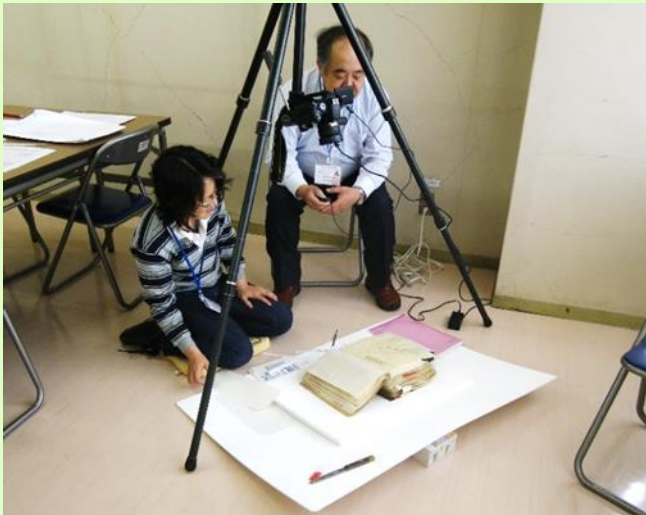


発行者 木更津市教育委員会 教育部文化課

〒292-8501 木更津市朝日3-10-19 木更津市役所朝日庁舎

Tel:0438-23-5309 Fax:0438-25-3991 E-mail:bunka@city.kisarazu.lg.jp

## 創刊号



史料撮影作業の様子

新たな『木更津市史』の編さん事業本格スタート！

木更津市では平成二四年度の市制施行七十周年を記念して『図説 木更津のあゆみ』を刊行し、これを契機に新たな『木更津市史』を編さんするための準備を進めてまいりました。

木更津市史編集委員会の皆さまと協議を重ね、平成二七年三月に「木更津市史編集基本構想及び基本方針」をまとめました。

木更津市の歴史・文化・自然を見なおし、市民の皆さまに地域のつながりやふるさと木更津への愛着を深めるとともに、ふるさとの貴重な財産の散逸・消滅を防ぎ、次世代に受け継ぎな

がら市の情報を市内外へ発信するため、新たな『木更津市史』の編さんに取り組みます。

### 新たな市史の特色



木更津市は太平洋戦争がはじまった翌年の昭和十七（一九四二）年十一月三日、千葉県で六番目の市となりました。市史編さんの取り組みは、戦後までもない昭和二二（一九四七）年からはじまり、市制施行十周年の昭和二七（一九五二）年に『木更津郷土誌』を刊行しました。

『木更津郷土誌』に掲載されている山崎直市長（当時）の序文に「郷土を思い故郷を忍ぶ念は、これ人の情であり、また人性の自然である。（中略）従つて吾人は郷土の沿革を正しく理解し熟知せんと欲している。（以下、省略）」という思いが語られており、この思いは『木更津市史』（昭和四七年）、『木更津市史 富来田編』（昭和五七年）、『図説 木更津のあゆみ』にも引き継がれています。しかしながら、これまでの市史は、木更津の歴史・文化・自然の内容をコンパクトにまとめたものでした。

新たな『木更津市史』はこれまで収集した資

料に加え、新たに収集する歴史・文化・自然に関する全ての資料をできる限り取り上げます。また各分野の専門家の執筆により質の高い学問レベルに耐えうる内容を保ちながら平易な文章で読みやすくし、写真や図版を多く取り入れるほかデジタルコンテンツを活用して、広く市民が親しみやすく利用しやすいものを編さんします。

### 新たな市史の内容・計画

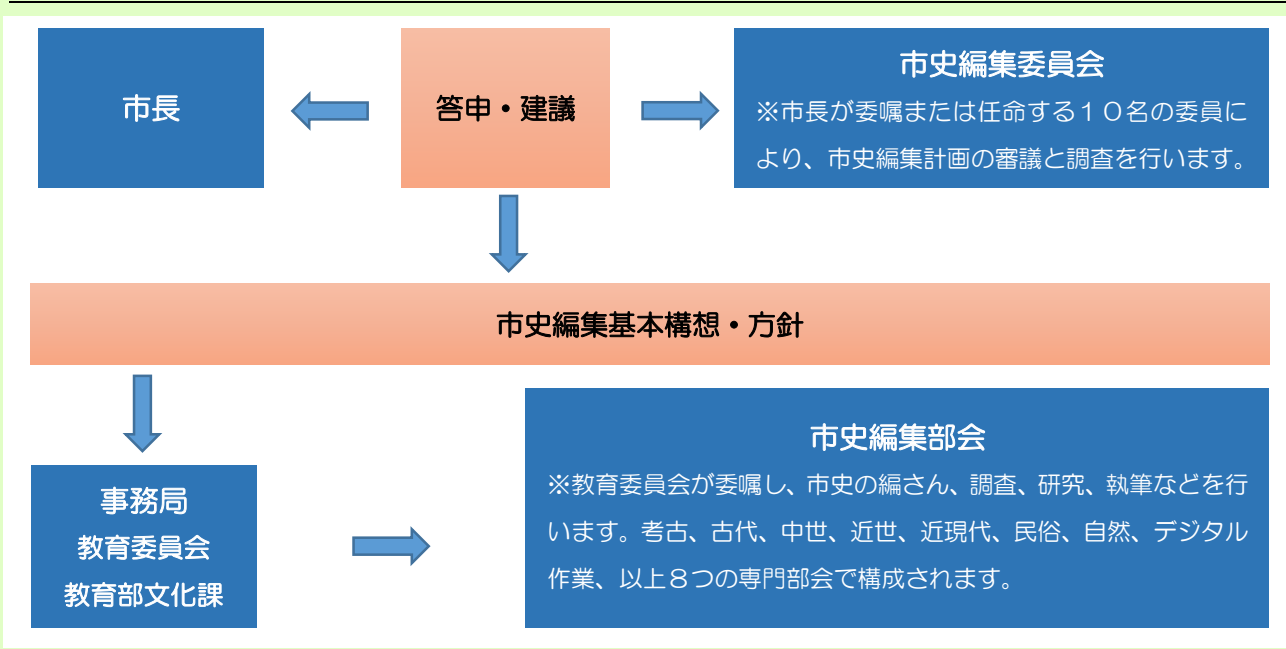
新たな市史の内容は木更津市の歴史を通史的に記述する「通史編」、基本史料をまとめた「史料編」、海や山地、町などの生活や信仰、年中行事に関する風俗慣習など、地域の特性や地域相互の関連性を明らかにする「民俗編」、木更津の特徴ある自然を記録する「自然編」からなります。

その他、Web版『木更津市史』や『木更津市史研究』、『木更津市史編さん事業公開講座記録集』などを計画しています。

なお、市史編さん事業は、下図のような組織で進めています。

### 市史編集部会の紹介

平成二七年度に近世、近現代、民俗、自然、以上四つの専門部会を組織しました。今後は、考古、古代、中世、デジタル作業部会を組織す



る計画です。市民の皆さまからお寄せいただいた情報をもとに部会委員による調査を行います。情報提供をお願いします。

### 専門部会の主な活動

(平成二七年十二月から平成二八年六月まで)

#### 近世部会

七名の部会委員が所属し、『木更津市史』(昭和四七年)に掲載された資料と所蔵者(所在地)を確認し、木更津地区の史料収集調査を開始しました。また石造物は鎌足、桜井、請西、真舟地区の既存調査資料データの整理を行いました。

#### 近現代部会

六名の部会委員が所属し、図書館および金田公民館に収蔵されている旧中郷村、旧鎌足村、旧金田村役場文書や、金田小学校収蔵資料などのリスト作成、資料撮影を行いました。また中郷地区の実地調査や、木更津地区の聞き取り調査も着手しました。このほか市内に残る近代建築物の分布調査を行い、調査候補リストを作成しています。

#### 民俗部会

五名の部会委員が所属し、既存の研究成果を把握しリストを作成しています。また木更津、金田地区の話者を確認する予備調査を行い、今後は組織的な民俗調査を行う予定です。





淡水魚類・水生昆虫類の調査



江戸時代の墓石調査



昭和30年頃の木更津銀座通りの様子

自然部会

八名の部会委員が所属し、地学、植物、動物ごとにデータの整理、現地調査を行いました。地学分野は下総層群のテフラ鍵層の調査、各層の柱状図の作成、写真の収集等を行いました。植物分野は馬来田・鎌足地区など、貴重種の生育する地域を優先的に現地調査しました。動物分野は盤洲干潟、長須賀のハス田、小櫃川の下流・河口の調査を行いました。

探しています！ 木更津の歴史

あなたの家の押し入れや自治会の倉庫などに古文書や昔の道具、古い写真などはありませんか？新たな市史を編さんするため、皆さんのお手元にある資料を探しています。

たとえば、村役人・新田・商売・旧木更津海軍航空基地に関する文書、出征・古い町並みの写真、農具、海苔の道具など、お持ちの方は文化課までご連絡ください。ご協力をお願いします。

平成二八年度木更津市史編さん事業公開講座を開催します

題名

「市史を編さんするということ」

「こんなに身近に宝があった！」

「木更津の古民家・近代建築をたずねて」

講師

木更津市史編集委員会委員

實形 裕介(じつかた ゆうすけ)氏

木更津市史編集部会委員

渡邊 義孝(わたなべ よしたか)氏

日時

十二月四日(日) 午後一時三十分受け付け、

午後二時講演

場所

中央公民館 一階大ホール

※駐車場に限りがございますので、公共交通



下郡郵便局旧局舎（国登録有形文化財）



平成27年度の公開講座



インターンシップの様子

機関をご利用ください。

**定員**

一〇〇人（申込順）

**申込方法**

氏名・住所・電話番号を文化課窓口・電話・ファックスまたはEメールでお申し込みください。

**インターンシップ実習生を受け入れました**

文化課において九月十二日から同月十六日までの間、都内大学の文学部史学科に在籍する学生のインターンシップ実習生を受け入れ、市史編さんに係る業務等を体験してもらいました。

**インターンシップ体験談**

私は小学生の頃から自身のルーツについて考えるようになり、身の周りの歴史や風俗を調べることが好きでした。大学では歴史を学び、インターンシップ実習を木更津市教育委員会の文化課に受け入れていただきました。

市史編さんに係る業務は、文化課での業務の一部です。私は市内小学校の資料を借用する際の資料目録の作成を行いました。資料の作成年代、サイズ、欠損など、特徴をみて目録として記入しました。職員の方に時おり声をかけていただき、慣れてきて気を抜くと単調な作業になってしまいがちになるものでした。私が体験した業務は、直接市史に載るものではありません。しかし、こうした業務の積み重ねが前提にあり、多くの人の手によって市史がはじめて形となることに気づかされました。

短い間でしたが、木更津市民の一人として愛着と誇りを持って『木更津市史』編さんに係る業務に携わることができました。（E・Y）

**編集後記**

このたび、「木更津市史編さんだより」を発行することとなりました。調査でわかった木更津の歴史・文化・自然などに関する情報を、年一回皆さまにお届けします。